



はんえい

2008.5.20発行

総力
取材

創意工夫により活性化する商店街事例

全国の活力ある
商店街から学べ！

大量量販店の進出やモータリゼーション化などにより、地域の商店街を取り巻く状況は厳しくなっている。だが、その一方で、あっと驚くような創意工夫によって顧客を生み出し、街に賑わいを取り戻した商店街も数多く存在する。今回は、魅力ある商品やサービスを揃えて、驚異的な地域再生に成功した高松丸亀町商店街の成功事例を中心に、さまざまな活性化への取り組み、賑わい創出の手法を紹介したい。

高松丸亀町商店街のシンボル“クリスタルドーム広場”



古川康造理事長

では、商店街を活性化させ、顧客を生み出すために、具体的にどのような手法があるのだろうか。「イベントやセールを開催すれば、お客さまは一時的にはたくさん集まるが、売り上げに結びつかないことが多い」と古川理事長。魅力のある商品、サービス、空間がなければ、せっかく商店街に足を運んでくれたお客さまも素通りしてしまうだろう。「こちらの

間がなければ、せっかく商店街に足を運んでくれたお客さまも素通りしてしまうだろう。「こちらの



週末に催されるイベントは多くの人で賑わう

モノ・サービス・空間をお客さま目線でデザイン

高松丸亀町商店街の歴史は古く、その成り立ちは城下町として栄えた江戸時代以来にまで遡るといえる。ピーク時には、年間二百七十億円の売り上げを達成するなど、「四国でもずっとトップを走る商店街だった」と古川康造理事長。転機が訪れたのは二十年前、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋の開通時だった。「何万平米もの売り場規模をもつショッピング・センターが乗り込んでくる。大資本が流入し、得意客を奪われてしまうかもしれない。このままでは大変なことになるだろう……」。実際、市周辺の商店街でシャッターを下ろす店も増え始め、「生きるか死ぬか」の状況を目の当たりにして、「何かを始めなければならぬ」という危機感が自然に芽生えたという。

「店」の総入れ替えをするぐらいの気迫がないと、商店街はよみがえらない」。高松丸亀町商店街がひねり出したのは、再開発によって土地所有権と経営権を分離し、振興組合が土地を借り上げて、時代に合った店舗を誘致していくというアイデアだった。このまま商店街で経営を続けるのか、それとも（商売を廃業して）テナント・オーナーとして一定収入を確保していくのか。古くからこの地で商売を続けている店主にとって、難しい判断だったに違いない。だが、「お客さまに望まれない店は今も昔も淘汰されていくもの。新たな道を指し示していくのも振興組合の役割だった」と古川理事長は表情を引き締める。

魅力

力ある環境を整え、
売り上げ三倍！

高松丸亀町商店街振興組合

モノ・サービス・空間をお客さま目線でデザイン

コミュニティ広場の整備で賑わいを創出

都合ではなく、お客さまの目線に立つて、街そのものをデザインしていく」と考えた」と話す。

保証料が20～30%OFFになります※
商工会等連携経営改革支援制度

～ いきいき経営改革サポート制度 ～

※保証料率年1.0%として



京

都府では、本所と連携して“商工会等連携経営改革支援制度”を行っています。この制度は、京都府・市の中小企業融資制度（中小企業再生支援融資を除く）を利用する場合に、信用保証協会の保証率が0.2%か

ら0.3%引き下げられるものです。一見、非常に小さい割引と感じるかもしれませんが、結構な割引になります。それでは、割引制度を利用した場合としない場合を見比べてみましょう。

▼事例

- ◎借入金 2,000万円
- ◎返済期間 10年（均等分割返済）
- ◎保証率 1.0%

このケースでの保証料の計算式は、借入金×0.55×保証期間×保証率となります。同制度を利用しない場合の保証料は、110万円。同制度を利用し、0.2%の割引が適用された場合は、保証率1.0%から0.2%が控除され、保証料は88万円となります。つまり、保証料が22万円安くなるわけです。信用保証協会のご利用をお考えの方には、同制度のご利用をお勧めします。

利用
対象者

本所などの経営指導を継続的に受ける府内の中小企業者

融資申込前の経営指導（事前指導）と融資実行後の経営指導（3年間、6か月ごとの事後指導）を受けていただく必要があります（無料）

※経営指導を受けている方であっても、融資申込にあたり金融機関及び保証協会の審査があり、ご希望に沿えない場合があります

お問合せ：中小企業経営相談センター ☎075-212-6460
事業所のある行政区の本部・支部へ（下の地図参照）

小規模事業者のための
経営改善資金融資制度
マル経 資金融資

※事業所のある行政区の本部・支部へご相談ください（下の地図参照）



無担保・無保証・低金利（手数料無料）

マル経がさらに充実しました

強化1 融資限度額が1,000万円に引き上げ

強化2 飲食店・理容業・旅館業などの生活衛生業種の設備資金融資が可能となりました



融資の条件

- 返済は元金均等月賦返済。（残債方式で、利息は毎月減額）
 - 信用保証協会による保証も不要。
 - 融資限度額の範囲内で、マル経の借替の利用もOK。
 - 返済期間は、設備：7年以内 運転：5年以内（いずれも6か月以内の据置も可）
- ※ご相談の内容によっては、ご希望に沿えない場合があります。

利用の対象

- 従業員数が20人以下（商業・サービス業では5人以下）の事業者の方。（ただし、法人役員、家族従業員、パートは除く）
- 従前から商工会議所の経営指導を受けている方。
- 所得税・法人税・事業税・住民税を完納している方。
- 京都市内で、最近1年以上営業している方。

融資限度額
1,000万円
（設備・運転を併せた限度額）

金利
1.95%
（平成20年5月13日現在）



休憩ベンチと空調を設けて、パブリックスペースを整備



スペースを細分化したことで活性化した店舗も多い



自転車専用レーンを設け、歩きやすい通りにした(左)、最新式の駐輪場も増設(上)



お かみさんパワーで 賑わいを創出

石山商店街振興組合

近年、大津市では大型量販店やショッピング・センターの進出が相次ぎ、石山商店街加盟店もピーク時の百五十店舗から約六十店舗にまで減少した。「このまま傍観しては商店街がダメになる。私たちがやれることをやろう」と商店街理事で女性部代表の古尾谷徳子さん。二〇〇四年、商店街のおかみさんたち有志九人が集まり、より多くのお客さまに自分たちのことを知ってもらおうと手づくり冊子「おかみさん便り」の発行を始めた。掲載されるのは各店PR・商店街行事などで、毎回テーマにそって綴られるおかみさんたちのコラムが好評だ。冊子は毎月一日に手配り・ポストイング・新聞折込などで約四千部を配布する。また古尾谷さんらは「おかみさん朝市」も年四、五回開催。豚汁などの無料ふるまい品もあり、こちらも多くの人で賑わう。今年四月には組合事業として商店街のシャッターカラーを統一、成安造形大との商学連携によって店のオリジナル紋「あきないモン」を制作するなど、賑わいを創出に向けて取り組みが加速している。「私たちの活動が商店街全体に刺激になったのでは」と喜ぶ。



名称 石山商店街振興組合
所在地 滋賀県大津市栄町9-7
TEL 077-537-2140
URL http://www.shotengai.jp/ishiyama/
理事長 黒崎弘之

工された。お客さまにゆっくりとくつろいでいただきたいと、トイレや空調設備の整った休憩所、商店街の中心部には、瀟洒なドーム屋根の市民広場を設けた。「ヨーロッパで何百年も続いているような街は、必ずコミュニティの中心となる広場がある」。ドーム広場は申し込みさえすれば誰でも自由に使うことができたため、これまで商店街の大売出しが行われたり、地域の人が趣味や特技を披露したり、野外結婚式が企画されたりと、すでに土日は予約で満杯の状態が続いている。商店街に行けば、なにか面白いことがありそうだという「わくわく感」の演出が集客につながっているようだ。

地域社会との協働で 商店街の価値を高める

商店街に軒を連ねる店舗は、どれもこれも魅力的で目を奪われる。生鮮品が豊富に揃うマーケットはもちろん、高齢者の医療施設、シネコンや大型書店、高級ブティック、飲食店など、「業種の偏りをなくして賑わいのある街づくりをめざした」という。再開発により、これまで八十坪も九十坪もあった大型店舗の中間割を検討し、経営規模や業種・業態に合わせて店を細分化。たとえば、店舗の大きさが十坪ほどであっても、身の丈に合わせた経営努力・サービス提供を行うことで、売り上げをぐんぐん伸ばしている店も

特 化したサービスを 得意さんに提供

八幡屋商店街振興組合

八幡屋商店街は、周辺に天保山や海遊館など関西屈指の観光名所を擁するものの、「観光で来られる方は若い人も多く、ほとんど商店街の客に結びついていないですね」と理事長の角正基さん。商店街の商圏人口は約三万四千人だが、六十五歳以上が九千四百人と三分の一を占める。「うちは地域密着型の商店街。それなら、固定客を徹底的に大切にしようと思った」。そして昨年九月から、六十歳以上の会員向けサービスとして、商店街内の施設「ほのぼのの休憩所」を拠点に、食料品や衣料品などの日用品を自宅まで届ける取り組みを始めた。宅配料は一回百円。電話やファックスで気軽に注文できるのが魅力で、現在までに百名以上の会員登録があるという。また、七十五歳以上の会員には、希望があれば地域ボランティアが自宅まで付き添うサービスも行っている。「安心して買い物ができる」「話し相手にもなってもらえる」などこちらも喜ばれており、口コミで利用者の数も増えているそうだ。「売り上げをどんどん上げようとは考えていない。長い目で商店街のファンを増やしていきたい」と角理事長は意気込む。



名称 八幡屋商店街振興組合
所在地 大阪府港区八幡屋2-3-28
TEL 06-6572-4506
理事長 角正基



今回商店街を案内下さった鈴江利浩さん(写真)をはじめ、振興組合のスタッフが、一丸となって取り組んでいる。大きな成功の道だろう。

少なくない。

高松丸亀町商店街のもう一つの特徴は、個々の商店だけが活性化に取り組むのではなく、商店街エリア内にある百貨店、スーパーブランドを販売する高級ショップのほか、地元高齢者やアーティスト、生産農家などのコラボレーション(協働)によって運営されている点にある。百貨店との協働では、ドーム広場の催しに合わせて百貨店のホールを開放し、さまざまな特別イベントを連動。大きな集客効果を生んでいる。また、生産農家との協働では、農家が栽培した生鮮品を商店街の市場で販売するなど、「市民が一体となって、商店街を盛り上げていく」という気概がはぐくまれた」と古川理事長は目を細める。

こうした努力が実を結び、この数年の間に売り上げは約三倍、周辺住民の数も三千人以上増えるなど、全国から脚光を浴びる商店街となった。「商店街の将来は、商店街の人たちが決めること！やる気の問題ではなく、どこまで本気になるかだ」と思う。本来、商店街はお客さまから必要とされることで成り立ち、今日まで発展してきた。その原点に立ち返って、地域社会を巻き込みながら、商店街の強みや付加価値を徹底的に磨き上げたことが活性化の原動力となったのだろう。

きらりと光る個性が 商店街を支える



熊紀三夫さん

高松丸亀町商店街で、百年以上続く洋装店「Life stage WAKAYA」を営む熊紀三夫さん。老舗といわれた商店が次々とシャッターを下ろしていくなかで、「街の価値を高めるには、特徴ある店舗づくりが必要」と考えたという。商店街のリニューアルに伴って、取り扱うアイテムを「働く女性のためのカジュアルファッション」に特化。他の高級ブランドショップとうまく棲み分けを図ることで、固定ファンの獲得に成功した。振興組合の専務理事としても活躍する熊さんは、「自分たちの手で商店街を盛り上げているという実感がある」と胸を張る。「経営者は時代の流れに敏感でないと……」と話すのは、ドーム広場近くで婦人服飾雑貨店「ゴレクシオン」を開く小西扶幸さん。七坪ほどの店舗だが、袋物やバッグ、エプロン、小物類など、トレンドを先取りした豊富な品揃えが好評で、ひっきりなしに顧客が訪れる。「今、売れているモノやサービスでも、明日はどうなるかわからない。お客さまが求めているものを真剣になって掘り起こしていく必要がある」。



小西扶幸さん

商店街が新しく生まれ変わっても、その賑わいを支えているのはそれぞれの個性の魅力なのだ、あらためて理解した。

名称 高松丸亀町商店街振興組合
所在地 香川県高松市丸亀町13-2丸亀ビル4F
TEL 087-821-1651
URL http://www.kamaguchi.jp/
理事長 古川康造
設立 1963(昭和38)年(登記)

テーマパークの 居心地のよさを演出



今や、全国から注目される高松丸亀町商店街は、店の経営権と所有権を分離し、やる気のある店主には新たな活躍ステージを、また後継者不足や売り上げ減少に悩む店主にはテナント・オーナーとしての道を示して、商店街そのものを魅力的にリニューアルした。「そんな大がかりなことは簡単にできない……」という声が聞こえてきそうだが、取材してみても学べるべき点は多かったように思う。

まず一つ目のポイントは、危機感の共有である。開発計画が持ち上がった当初、高松丸亀町商店街は(衰えたとはいえ)まだ年間売り上げは十億円程度あり、今日明日に店を閉めなければならぬ状況ではなかった。だが、人通りが途絶えた周辺地域の様子を見て、「このままでは街は滅びる。十年、二十年先を見据えて賑わいを創出しよう!」と考えたという。何百店舗もある商店街すべての意思を統一するのは容易ではなかった。う。「しんどいしんどい」と言うだけでなく、私たち自身、何とかしようという思いをもつべき」(「二

シ・小西扶幸さん。高松丸亀町商店街の成功は、こうした個店の気概によって支えられているのだ。二つ目のポイントは、「そこに行けば何でも揃う!」という商店街本来の豊富な品揃え、親身なサービス、わくわくするような期待感を用意したということだろう。「地域内ですべて完結することが可能(古川康造理事長)」と話すように、地元農家が栽培した生鮮食品は安全・安心の折り紙つき、トイレや休憩所は気持ちよく整備され、広場では腕自慢たちがパフォーマンスを披露する……。まるで、どこかのテーマパークに出かけたような居心地のよさにお客さまは魅了されるのだ。この何度も足を運びたくなるような「居心地のよさ」こそ、地域に密着した商店街の長所であり、訪客へのアピールポイントだろう。ぜひ、参考にしてほしい。



部 オリジナルエコバッグを製作 商店街に実験無料配布

京都府商店連盟

京都府商店連盟（早瀬善男会長）は、商店街と消費者が一体になって取り組む最も身近な環境問題対策として、エコバッグの活用促進運動を実施した。

今回のオリジナルエコバッグは、京都にふさわしいデザインをとの趣旨から、同連盟のロゴとともに、今年千年紀を迎える「源氏物語」にちなんで、源氏物語千年紀委員会がデザインしたキャラクターを取り入れた。色は茶色で、幅三十二、高さ三十三、奥行き十一センチメートルの不織布製。二千五百個を製作した。

実験無料配布にあたり会員商店街に活用希望を照会したところ、三十七商店街から応募があり、今年三月、試験的に商店街や個店にエコバッグを配布。レジ袋の削減などの環境問題に取り組む商店街としてイメージアップを図った。また、エコバッグ持参者にはポイントを付与するなど、販売・購買意欲促進ツールとしても活用していただいた。

あわせて行われた商店街や個店に対してのアンケート調査では、「レジ袋の削減につながり環境にいい」、「お店や商店街のPRになる」などの報告があり、大変好評だった。同連盟では、今後もエコバッグの活用・普及を推進し、個店や商店街の販売促進、環境問題への意識向上につなげたいと考えている。



個店や商店街の販売促進、環境問題への意識向上につなげたいと考えている。

部 安心で安全な 商品を届けるために

京都府牛乳商業組合



京都府牛乳商業組合（谷尻順一理事長）では、組合員が安心して安全な牛乳・乳製品を消費者に届けるとともに、その取り組みをわかりやすく外部に示すために、「京・食の安全衛生管理認証制度」の取得に向けた活動を積極的に進めている。

取り扱い事業者による偽装問題が頻発。さらに、今年に入ってから劇薬が混入された輸入食品による健康被害が相次ぎ、消費者の食品に対する信頼が大きく揺らいでいる。これらの出来事によって、食品を扱う事業者には、今まで以上に安心・安全への取り組みが厳しく求められ、さらにその取り組みをわかりやすく情報発信することが必要になってきている。しかし、自主的な衛生管理によって食品を安全に提供することは各事業者が独自に行っており、これを消費者が知る機会は今までなかった。

京都市が行っている「京・食の安全衛生管理認証制度」は、食品に従事する者が自ら行う衛生管理について、市が定める基準を満たしている事業者を認証し、公表するもの。同組合では、この認証制度を牛乳販売店が取得することで、生鮮食料品といっても過言ではない「牛乳」をはじめとする牛乳・乳製品を、安心して購入してもらえようことを期待している。また、大口取引を行う組合員に対して、新規契約の獲得や取引引きの継続のために積極的に認証制度を取得するよう推奨している。

部 伝統工法を応用した 新しい木造建築の創造にむけて

京都府建築工業協同組合

京都府建築工業協同組合（藤本高信理事長）は、京都府内の大工技能者を中心とする建築技術者三千余名が加入する組織で、建築技術・技能の発展継承に支えられた、健全な住宅普及による業界の振興に取り組んでいる。

同組合では、平成十九年度各種研修事業の中で、本所「継続集団研修事業」を活用し、四回にわたり「設計・施工ワーク研修会」を開催した。

第一回研修会は、昭和の名建築「旧甲子園ホテル（現・武庫川女子大学甲子園会館）」を見学した。第二回は、伝統的京町家の保存と京町家での暮らしについて長年啓蒙活動を行ってきた小島富佐江氏を講師に迎え、「京町家小島家」を創建当時の姿に復元改修する現場を見学。京町家の基本構造を守りつつ施工する耐震補強法について研修した。

「木造住宅の腐朽・虫害とその対策」をテーマに開催した第三回では、木造住宅の耐久性において大きな課題である木材の腐食と蟻害について、生環境からみた維持管理サイクルの確立という視点で研修。第四回は桂離宮をモチーフとして大正期に建てられ、



迎賓館として利用された数寄屋建築の建物「天龍寺塔頭 宝蔵院」の書院・茶席を見学し、建物の修復を手がけた安井清氏から説明を受けた。

同組合では、研修会を通じて伝統木造建築技術や技能の維持継承に向けた研鑽を重ねている。

部 地域の憩える場所を 目指して

ラクスリーヌ商店会

ラクスリーヌ商店会（中川敏逸会長）は、四月五日（土）・六日（日）、洛西高島屋とともに、第十四回「らくさいさくら祭」を商店会東側の小畑川中央公園一帯で開催した。両日とも天候に恵まれ、約五百本の桜が満開を迎えるなか、延べ約八万人の人出で賑わった。

会場では、縁日や特産品販売、障害者支援施設によるバザーのほか、京都大学大道芸倶楽部によるジャグリングショーや地域女性会による民謡・大正琴など、多彩なステージイベントも開催され、家族連れなどたくさんの方々が思い思いに楽しんだ。

ラクスリーヌ専門店共通の「百円分の商品券」がもれなく当たる抽選会の会場では、一日千五百枚用意していた商品券が、両日とも約三時間で売り切れとなる人気だった。専門店では商品券を利用する客であふれ、売り上げが通常の休日より約二〇％アップする効果があった。

同商店会では、商店会が地域の人々の集う憩いの場所となるよう、今後もカメ・ウサギ・ヒツジなどを身近に観察できる「ふれあい動物園」など、年間を通じて工夫を凝らしたイベントを企画しており、家族でゆっくり楽しめる商店会を目指して意欲を燃やしている。



部 日本酒の里 伏見の蔵元自慢の銘酒を味わう

株式会社伏見夢工房・伏見酒造組合

伏見地域の活性化に取り組む伏見夢工房（大倉敬一社長）は、伏見酒造組合（山本源兵衛理事長）とともに三月二十二日、月桂冠本店（大正八年建築）を活用した伏見夢百景などを会場に、第二回伏見の清酒・新酒蔵出し日本酒まつり」を開催した。

晴天に恵まれたこの日、地元だけでなく近郊や全国各地からの清酒ファンや観光客など、約七百五十人がきき酒に訪れ、同組合加盟の十八社が丹精込めて仕込んだ新酒など三十五銘柄の香りと味を心ゆくまで楽しんだ。

「伏水（ふしみず・ふくすい）」と呼ばれる伏見の地下水は、カリウムやカルシウムなどをバランスよく含んだ中硬水。まろやかで口あたりの良い酒になるうえ、各蔵元が守り伝えられてきた伝統製法により、丁寧に仕上げることで蔵ごとに独特の味わいと旨みを醸し出している。



会場では、日本酒カクテルや燗酒が振る舞われたほか、「伏見ほろ酔い市」を開催し、酒器や伏見の名水仕込みの「ぐらわんか豆腐」、吟醸酒を練りこんだ「京美酒うどん」、酒粕アイスや、酒カステラなどを販売。清酒が当たる抽選会も開催した。近隣飲食店では新酒の季節ならではの酒粕汁が店頭販売されるなど、終日、会場周辺は賑を赤く染めた多くの人で賑わった。

部 “お菓子の祭典”に 京工芸菓子を出展

京菓子協同組合青年部

京菓子協同組合青年部（林晃士部長）では、四月十八日（金）から五月十一日（日）まで開催された全国菓子大博覧会「姫路菓子博2008」（兵庫県姫路市）に参加し、京工芸菓子の披露や伝統和菓子の出展を行った。全国の菓子が一堂に会する会場



で、多数の来場者をおおいに魅了した。

同博覧会は明治四十四年に東京で「第一回帝国菓子始大品評会」が開催されて以降、ほぼ四年に一度全国各地で開かれていた。今年は第一回から数えて約百年、記念すべき二十五回目の節目にあたり、開催地の兵庫県はもとより全国の参加者の意気込みも強く、熱気溢れる大会となった（近畿での開催は大阪（大正八年）、京都（昭和二十九年）について三回目）。会場はまさに「お菓子の祭典」。日本各地から集まった菓子の展示販売をはじめ、菓子職人による工芸菓子の披露や、菓子に関する伝統、歴史などの紹介のほか、出品された菓子の中から名譽総裁賞、内閣総理大臣賞などの授与が行われた。

林晃士部長は、「歴史あるこのイベントに青年部一丸となって参加し、全国の皆様に伝統ある京菓子を再認識していただけたことを誇りに思う。より愛されるお菓子作りを目指し日々精進していきたい」と今後の抱負を語った。

新たに「知恵ビジネス推進室」を設置

本所は、昨年十一月に策定した「ニュー京商ビジョン」の基本方針「知恵産業のまち・京都の推進」に向けて、四月一日付で事務局の機構改革を行った。中小企業経営相談センターでは、知恵ビジネスの創出を図るための支援拠点として、京都に蓄積された経営資源を活かした新しい事業やビジネスの創出を

目的に設置していた「京都・ビジネスモデル推進センター」を発展的に改組し、新たに「知恵ビジネス推進室」を設置。同推進室では、京都に内在する「知恵」を発掘、評価し、企画支援やマーケティング支援などを通じて、事業化の検証や育成にあたる。また、これまで金融支援グループと相談対応グループに分かれていた担当を「経営相談担当」として一元化するほか、共済・労務担当を「設置し、これまでの団体支援グループと人事労務支援グループの業務を集約した。スポーツ振興、京都・花灯路事業などは産業振興部に移管し、組織のスリム化と効率的な事務分担を図った。

▼京都山科観光プロジェクト実行委員会

「自然・歴史・工芸」の観光振興へ

京都山科観光プロジェクト実行委員会（小山好弘委員長）は、平成十九年度、新山科ブランドをめざす新製品開発と展示会、山科地域を紹介する観光プラン作成と観光ツアーに取り組み、貴重な成果をあげている。新製品開発では、清水焼団地と仏具団地が協働して新たなテーブルウェア（食器製品）を開発。東京と山科で開催した試作品の展示会には、レストラン、ホテルや販売業者などが多数参加し、早速に老舗旅館などから引き合いが寄せられた。観光プランは「自然満喫」「歴史深訪」「工芸の技」などのテーマ

マで観光ルートを紹介。三月に実施した産業観光ツアー、歴史ウォーキングツアーには、山科内外から総勢八十余名が参加し、山科の豊かな魅力を体験した。また、企業・市民で構成する「おこしやす」や「まじな」協議会」は、観光パンフレットの作成や観光案内表示の設置（山科駅前）に取り組み、山科老人クラブ連合会等の住民団体も観光案内ボランティアや観光ガイドブックの作成などを進めている。本所はこのような気運に応え、「自然・歴史・工芸のまちなかテーマパーク（仮称）」と題する山科・周辺地域の観光事業を



計画し、本年度の地域資源・全国展開プロジェクト（中小企業庁）の採択を得た。山科・周辺地域の観光振興はいよいよ本格的展開を迎える。

イクイップ

独自のファッションスタイルを提供したいですね

お洒落なレディース・カジュアルウェアを豊富に取り揃える。「僕の趣味・嗜好で集めたものばかりです」と瀬川誠さん。オーナー自ら、一、二カ月に一度の割合で、アメリカ（西海岸）や香港に向き、市場でブームを呼びそうな一品ものを先取りして仕入れている。普段着としての気軽さを備えながらも、ちょっとした食事やデートなどにも着ていけるような、「ワンランク上のファッション性魅力」と胸を張る。四条界限などに店舗を構えるセレクトショップとはひと味違う目利きをすることで、顧客の心をつちりととらえているようだ。また、この場所に店を構えて二十年というだけあってリピーターも多く、親子二世代で訪れる顧客もいるという。気心の知れたスタッフが親切に対応してくれる



ので、なかには一着の服を二時間も三時間もかけて選ぶ人もいます。このんびりしてもらうのは大歓迎。これからは、居心地のいい店を目指していきたいですね。一人ひとりのファンを大切にしようというオーナーと店長の気持ち、品揃えやサービスにも表れているようだ。



イクイップ オーナー 瀬川 誠さん
店長 二井内 恵さん

イクイップ
DATA
京都市西京区川島東代町28-1 辻ビル1F
☎ 075-381-0905
婦人もののインポート・カジュアルを中心に、ユニークな雑貨や小物を販売している。掘り出し物、この出会いを予感させるセレクトショップ。

専門相談のご案内

小規模事業者の皆様の経営上のご相談に、各専門家が適切なアドバイスを行います。相談は無料、秘密は厳守致しますので、お気軽にご利用ください。

京都商工会議所
中小企業経営相談センター
お問合せ
本 部 ☎ 075-212-6460
洛北支部 ☎ 075-701-0349
洛南支部 ☎ 075-611-7085
洛西支部 ☎ 075-314-8771

▼各種専門相談日程

相談分野	時間	相談日	相談場所
法律	午後1時～午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週（火）	本部
経営	午後1時～午後4時 受付は午後3時30分まで	毎週（水）	本部
店舗運営管理	（事前予約制）		洛南支部
相続贈与税 資産運用	午後1時～午後5時 受付は午後4時45分まで	第1・3（木）	本部
税務	午後1時～午後5時 受付は午後4時45分まで	第2・4（木）	本部
		第1・3（月）	洛北支部
		第2・4（火）	洛西支部
		第2・4（水）	洛南支部
適年移行・ 退職金準備・保険見直し 高齢者最適資金	午後1時～午後4時30分 受付は午後3時30分まで	第2・3（金）	本部

法律

取引上のトラブル・手形・小切手、売掛金回収、契約・登記、金銭貸借、不動産売買など。その他交通事故、相続、保証人などの法律問題。

経営

財務・金融、労務管理、生産管理、マーケティング、経営革新、情報化など企業経営に関するさまざまな相談。

店舗運営管理

外装（看板、ショーウィンドウ）、配置計画、商品陳列、照明、色彩、POP各種表示、その他商店街の活性化や個店の活カアップの方策など。

相続贈与税・資産運用

不動産の実勢価額や公的評価を参考に、低金利制度の中で資産価値を高める運用方法など、関連する税制面を踏まえながらアドバイス。

税務

所得税（事業所得、譲渡所得など）、法人税、事業継続・相続税、贈与税、事業税、固定資産税、消費税、確定申告の仕方など。

適年移行・退職金準備・保険見直し・高齢者最適資金

平成24年3月31日に廃止される「適格退職年金」の制度移行問題、退職金準備相談、共済並びに貸付制度など。

新現役の力で経営活性化を！

大手・中堅企業OBの知識・技術・経験・ノウハウを、中小企業やベンチャー企業の経営に活用する「企業等OB人材マッチング事業」の活動報告会と、その継続事業である「新現役チャレンジ支援事業」の説明会を開催。企業等OB人材マッチング京都協議会が主催した同会合には、登録OB人材や産業支援機関の関係者など約100人が参加した。

企業等OB人材マッチング事業は、中小企業庁の委託事業として平成十六年十二月から京都では実施されている。経営企画・戦略立案、海外展開・国際化、生産管理、物流管理、人事・労務管理、技術・製品開発、



社会保険庁からのお知らせ

従業員の皆様の「ねんきん特別便」の配付・回収にご協力ください。

●年金記録漏れに関し、現在社会保険庁では年金加入者の皆様に年金記録をご確認いただくための「ねんきん特別便」の送付を進めています。加入記録の「漏れ」や「間違い」の有無について確実にご回答をいただくため、企業にお勤めされている第二号被保険者につきましては、原則として事業主経由にて配付いただくこととなりました。事業主の皆様への特別便の発送は六月から十月を予定しています。

●年金記録問題の早期解決のためには、皆様にご自身の記録をご確認いただき、記録の統合などを進めることが重要になっています。「ねんきん特別便」の趣旨をご理解いただき、ぜひとも事業主の皆様にはご協力いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ お近くの社会保険事務所まで